

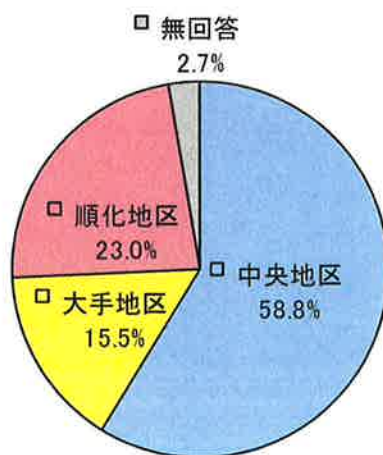
中心市街地活性化に関する調査 調査結果

(若手経済人・中心市街地店舗経営者の満足度)

I 調査の概要

- 1 目的 「福井市中心市街地活性化基本計画」が5カ年計画の後半に入り、中心市街地活性化に係る成果を検証し、今後の事業推進の参考とする。
- 2 調査対象 ①市内若手経済人 200人
②中心市街地の店舗経営者 379人
- 3 調査方法 郵送によるアンケート方式
- 4 調査期間 平成23年5月9日(月)～5月27日(金)
- 5 回答状況 ①若手経済人 有効回答数 91 回答率 45.5%
②店舗経営者 有効回答数 148 回答率 39.1%
- 6 回答者属性

(中心市街地店舗経営者向け部門の店舗所在地)



Ⅱ 調査結果の概要

◆若手経済人への設問

1. 中心市街地への来街状況 等

- ・コンパクトシティ構想の必要性について、最も多いのは「中心部と郊外のバランスの良いコンパクト」で過半数を超え 53.8%、全体の 86.8%がコンパクトシティの必要性を感じている。
- ・中心市街地に出かける回数については、「月に1回」「月に2～3回」が最も多く両回答で全体の 65.0%を占める。次いで「年に5～6回」、「週に1～2回」であり、若手経済人の来街頻度は少なくなっている。
- ・出かける交通手段は、「自家用車」が圧倒的に多く 91.4%となり、次いで「自転車」、「徒歩」と続く。
- ・出かける目的では、「買い物」(62.9%)、「飲食」(40.0%)といった消費型が多い。また、「仕事」(47.1%)、「公共サービス」(28.6%)など何らかの用事のために来街することも多いことが窺える。
- ・平均的な滞在時間について、「1時間程度」が 47%、「2・3時間程度」が 46%と二分されている。
- ・平成 19 年頃と比べて出かける機会が増えたか尋ねたところ、「変わらない」(46.0%)が最も多いが、「増えた方向の回答」(36.0%)が次に多く、逆に「減った方向の回答」は 17.0%となっており、「増えた」が 19 ポイント上回った。
- ・出かける機会が少ない理由については、「行きたい店がない」(55.0%)、「活気がない」(35.0%)、「買いたい商品がない」(30.0%)と続いており、商業に関連する回答が多い。
- ・中心市街地以外での買い物・飲食先について、「自宅近くの店」、「郊外のショッピングセンター」が最も多く 45.0%となった。

◆店舗経営者への設問

1. 不動産(土地・建物)の状況と 今後の活用

- ・土地や建物の所有形態については、「土地・建物(店舗)とも所有」が最も多く 55.0%、一方、「店舗を借りている」いわゆるテナント店舗は 39.0%の割合となった。

【店舗建物所有者の回答】

- ・店舗建物の所有者に建物の築年数を尋ねたところ、建築後「30年～40年未満」「40年以上」という高経年化の回答が全体の約 6 割を占めた。
- ・現在の建物の利用状況を尋ねたところ、「自身の店舗として活用」が圧倒的に多く 88.6%を占めた。
- ・2020年頃の建物の活用計画を尋ねたところ、「自身の店舗として活用」が 15.9 ポイント減少しており、一方「貸している」という回答が 10.3 ポイント増加している。
- ・建替え計画の有無については、「5年以内に建替える」予定の回答は僅か 3.4%しかない。「今のところ建替える気はない」が全体の 8 割(80.7%)を占めている。
- ・5年以内の建替え計画がある店舗所有者の建替えの目的は、「店舗移転」が最も多く 43.0%、次いで「店舗改装」(29.0%)となっている。

【テナント経営者の回答】

- ・「5年以内を目途とした建物への投資計画」を持っていると回答した割合はテナント経営者の中で 12.0%存在し、逆に「ない」としたのは 53.0%であった。
- ・5年以内の建物への投資計画を持っていると答えた経営者の設備投資の目的を尋ねたところ、「店舗改装」「店舗移転」「維持・補修・更新」が同率(33.0%)であった。

2. エリアマネジメント(街や地域を経営・管理するという概念のもと、地元民が参加してまちづくりに取り組む組織及びその活動)で取り組むべき活動

- ・地域で主体的に取り組むべき活動を尋ねたところ「イベント企画・運営、PR活動」「今後の街のあり方の企画・検討」「施設等の管理・運営」の順に回答が多かったが、比較的積極的な項目が上位を占めた。
- ・エリアマネジメントへの関わり方については、「多少であれば協力したい」(58.8%)、「積極的に関わっていきたい」(27.7%)の2つで86.5%と、前向きな回答が多い結果であった。

◆若手経済人・店舗経営者 共通の設問

1. 中心市街地活性化の評価(平成19年と現在を比べて)

- ・福井市の中心市街地は平成19年頃と比べて活性化しているか尋ねたところ、若手経済人・店舗経営者とも「活性化しているとは思わない」「それほど活性化しているとは思わない」という回答が上位を占めた。若手経済人よりも店舗経営者の方で、活性化の評価が低くなっている。

2. 分野別の現状の満足度と将来の重要度に関する評価

- ・中心市街地の「にぎわい等」「景観等」「商業等」「交通等」に関する4分野(24項目)に関する現状の満足度と将来の重要度について、若手経済人と店舗経営者それぞれに尋ねてみた。
- ・現状の満足度については、満足度の高い方から「交通等」「景観等」「商業等」「にぎわい等」となり、若手経済人・店舗経営者とも同じ評価であったが、将来の重要度については、若手経済人では「商業等」の位置付けが2番目と高いのに対し、店舗経営者では4番目と最も低い位置付けとなった。
- ・現状の満足度を横軸、将来の重要度を縦軸に設定し、ポジショニング・マップに各項目を落とし込んでみると、“重点的な取り組みが必要な”事項として次の10項目が位置付けられた。「にぎわい等」からは“文化的な潤いがあり親しみやすく愛着の持てる街”、“福井の「顔」として誇りを持てる街”が、「景観等」からは“人が集まり交流できる場がある街”、“地震や火災に強い街”が、「商業等」からは“誰もが働きたくなるような魅力ある街”、“魅力的な店舗が多い街”、“楽しい時間を過ごせる街”、“気軽に立ち寄れる親しみやすい街”、“商業・事業者が協力、活性化に取り組んでいる街”が、「交通等」からは“高齢者や障害者等にとって安全に移動できる街”となったが、特に商業等分野から5項目も該当している。
- ・一方“現状の水準を維持する”事項としては、「交通等」の“路面電車が走っている街”のみが該当した。

3. 中心市街地の活性化のために強化すべき機能

- ・中心市街地の活性化のために強化すべき機能を尋ねたところ、最も回答が多かったのは若手経済人・店舗経営者とも「商業機能」であった。次に続くのは、若手経済人と店舗経営者で若干の差異はあるものの、「憩い機能」「観光・コンベンション機能」「公共交通」となっている。

4. 中心市街地の活性化に寄与すると思われる事業

- ・中心市街地活性化基本計画に定められている事業の中で、現在実施中と今後着手される事業を対象に中心市街地の活性化に寄与すると思われる事業の、各分野毎に回答が最も多い項目を掲げると次の通り。分野によっては、若手経済人と店舗経営者で意識の違いが見てとれる。

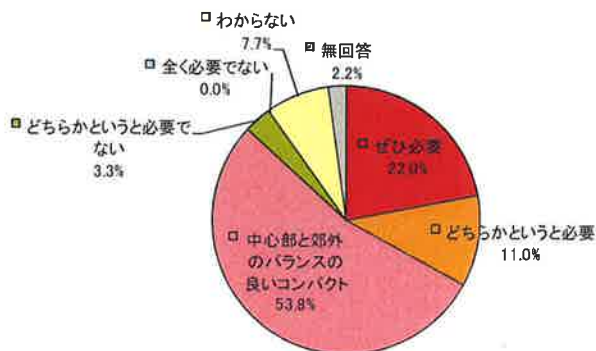
分 野	若手経済人	店舗経営者
訪れやすい環境をつくる	福井駅周辺土地地区画整理事業	コミュニティバス事業
居住する人を増やす	まちなか居住推進事業	福井市まちなか住まい支援事業(戸建住宅)
歩いてみたくなる魅力を高める	大型空き店舗利活用事業(旧生活創庫)	賑わい創出事業
複合事業	福井駅西口中央地区第一種市街地再開発	福井駅西口中央地区第一種市街地再開発

Ⅲ 調査結果

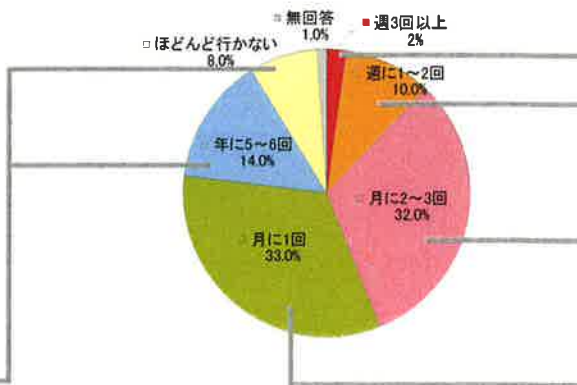
《若手経済人への設問》

1. 中心市街地への来街状況 等

【コンパクトシティ構想の必要性】

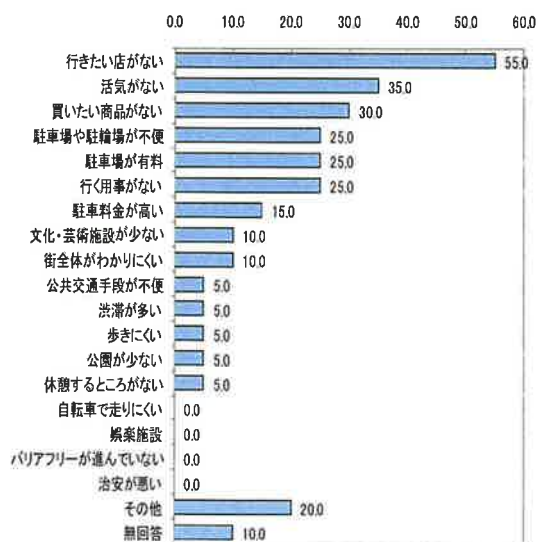


【中心市街地に出かける回数】

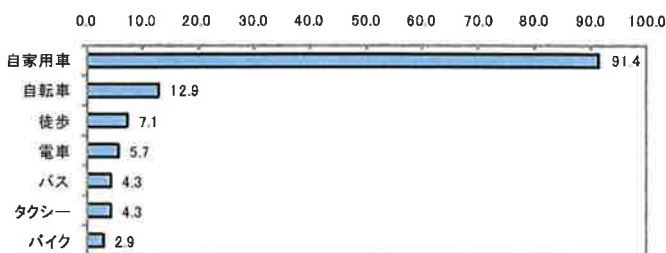


【出かける機会が少ない理由】

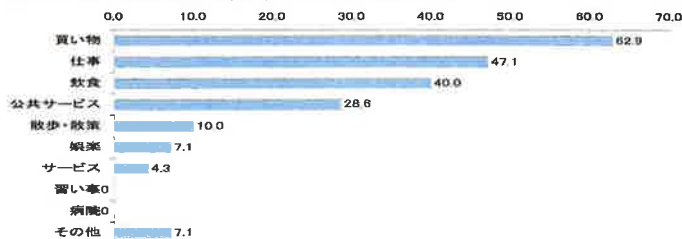
(複数回答:3つまで)



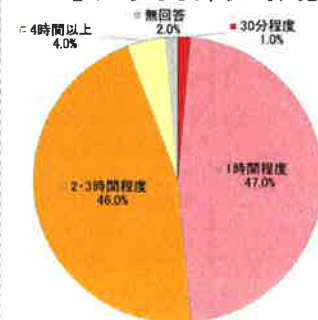
【出かける交通手段】(複数回答:2つまで)



【出かける目的】(複数回答:3つまで)



【平均的な滞在時間】

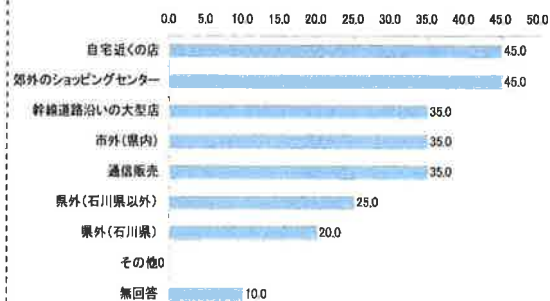


【出かける機会の増減】



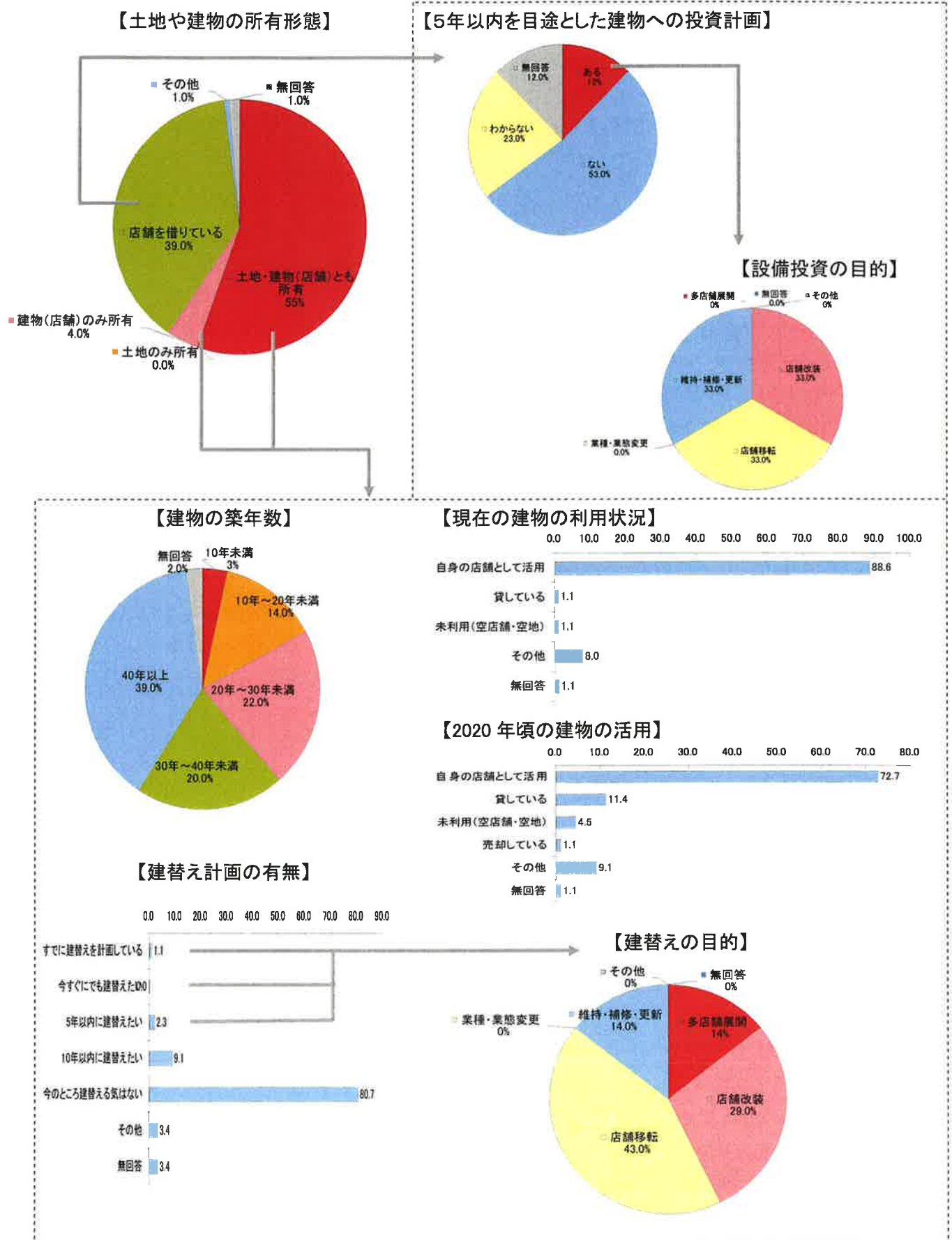
【中心市街地以外の買物・飲食先】

(複数回答:3つまで)



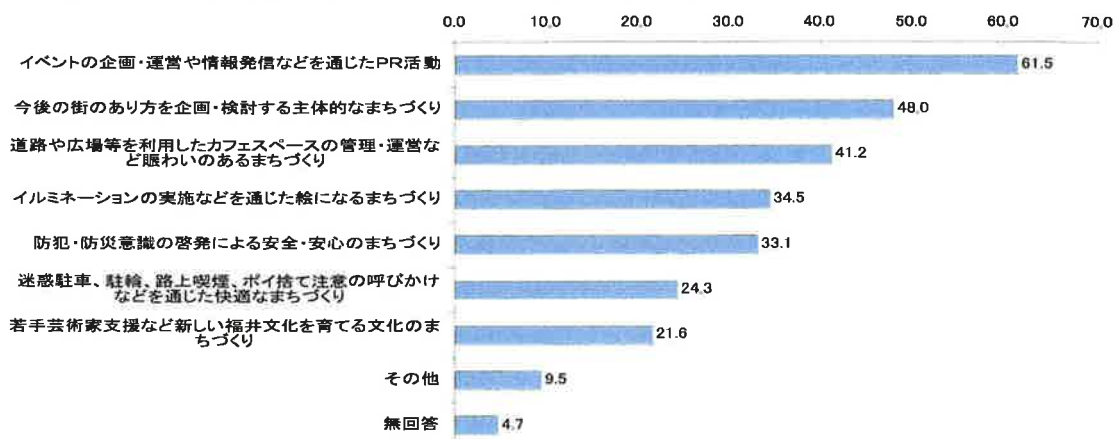
《店舗経営者への設問》

1. 不動産(土地・建物)の状況と今後の活用

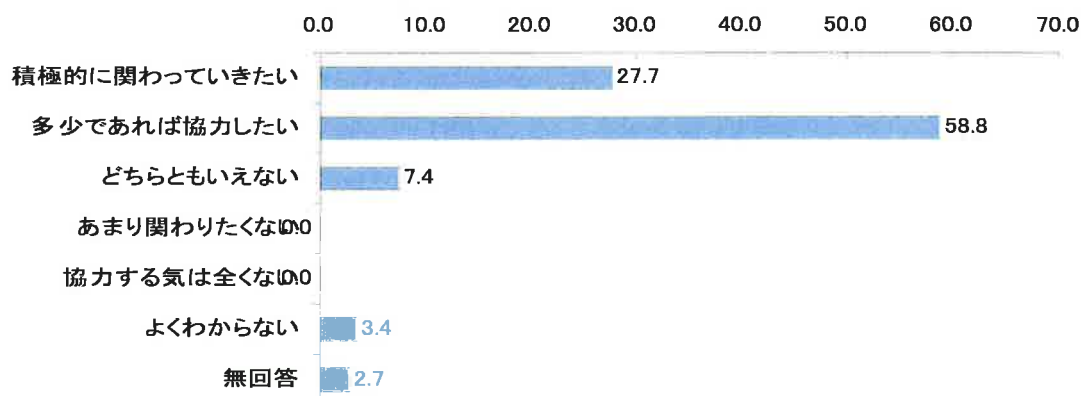


2. エリアマネジメント(街や地域を経営・管理するという概念のもと、地元民が参加してまちづくりに取り組む組織及びその活動)で取り組むべき活動

【地域で主体的に取り組むべき活動】(複数回答:いくつかでも)



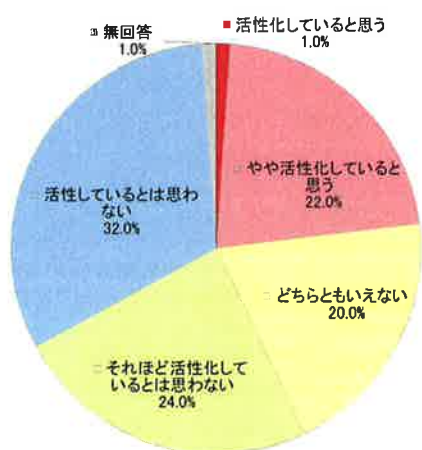
【エリアマネジメントへの関わり方】



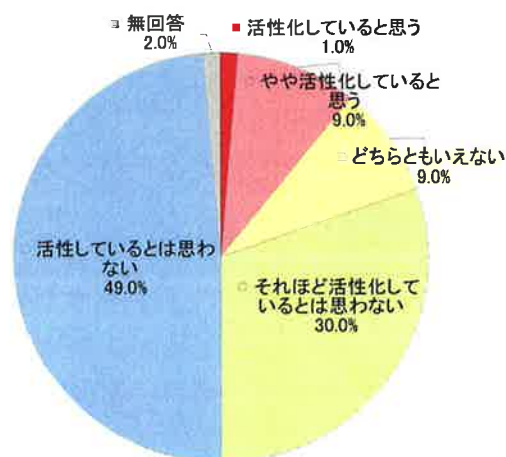
《若手経済人・店舗経営者 共通の設問》

1. 中心市街地活性化の評価 (平成19年と現在を比べて)

【若手経済人】



【店舗経営者】



2. 分野別の満足度

満足度のDI値は、次式で算出。

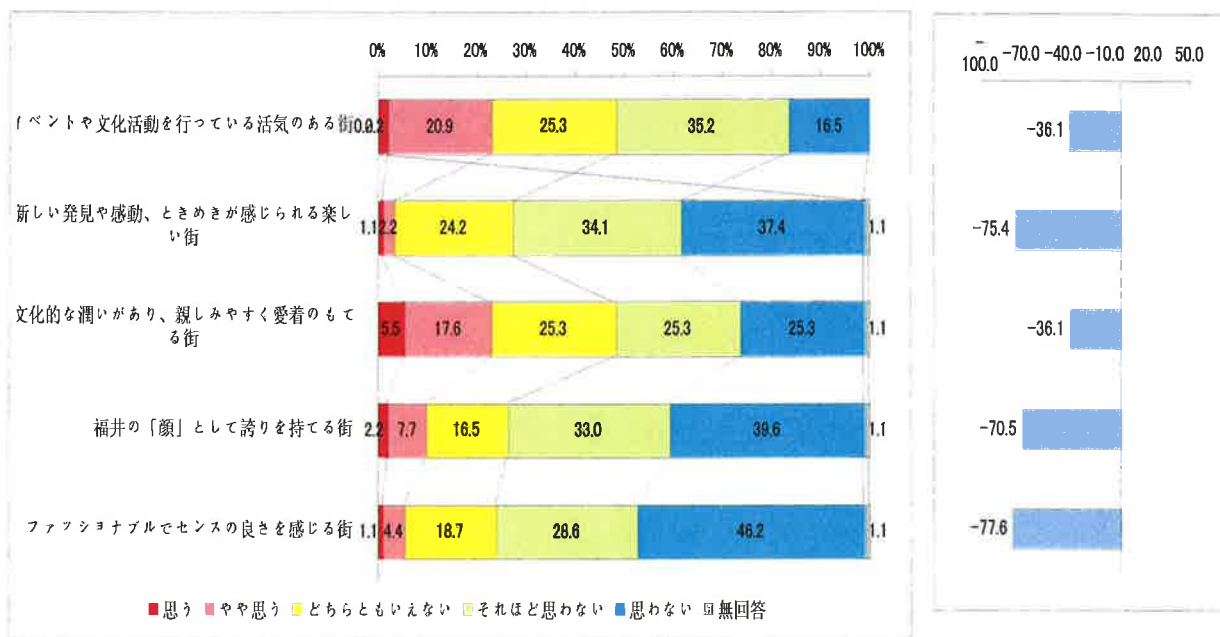
$$DI値 = (\text{「思う」の回答率} + \text{「やや思う」の回答率}) - (\text{「それほど思わない」の回答率} + \text{「思わない」の回答率})$$

※肯定・否定の度合いの高い「思う」、「思わない」の回答数は2倍のウェイトを与えて回答率を求めた。

① イベントや市民活動・文化活動等に関する「にぎわい等満足度」

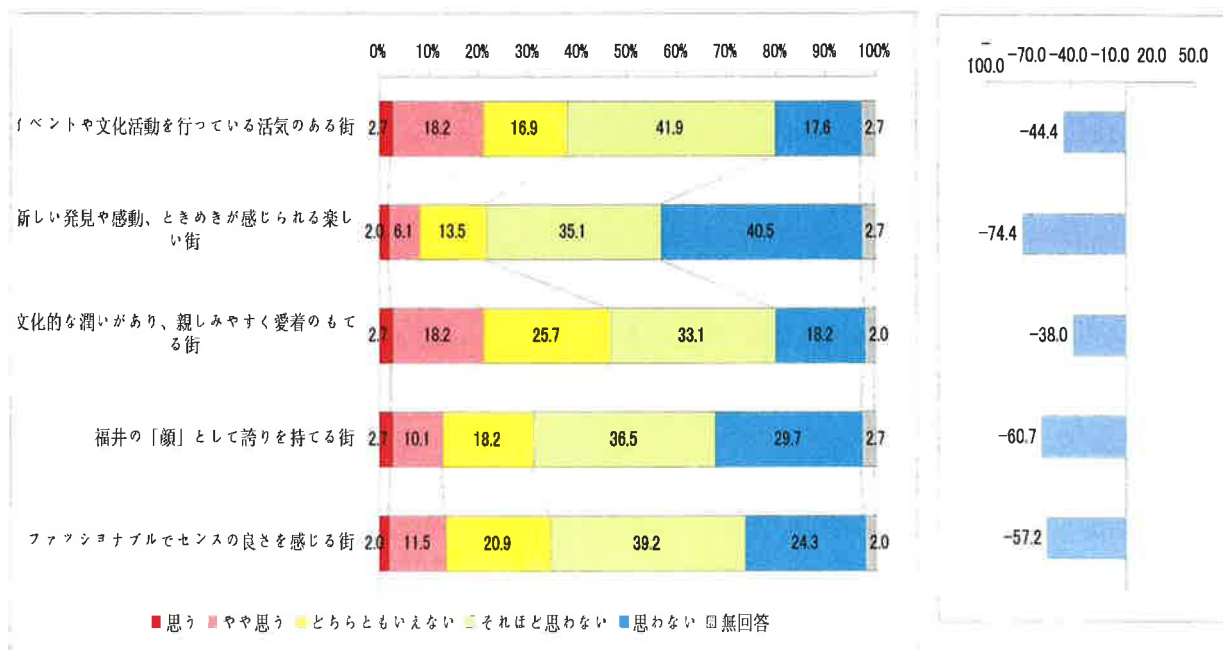
【若手経済人】

(満足度 DI 値)



【店舗経営者】

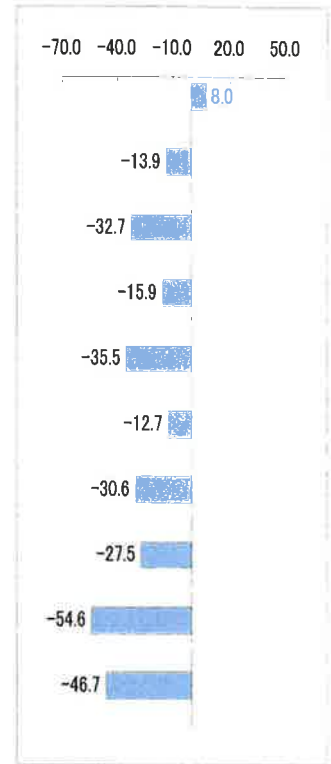
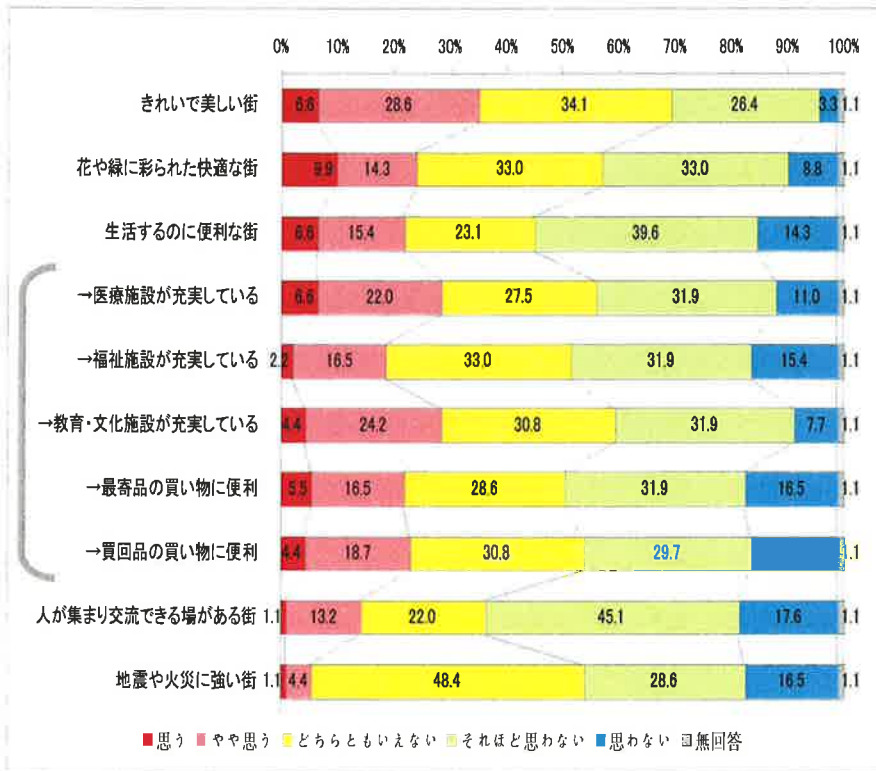
(満足度 DI 値)



②居住環境・都市景観に関する「景観等満足度」

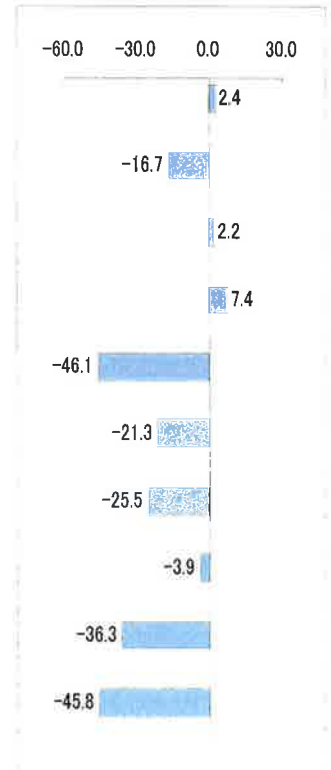
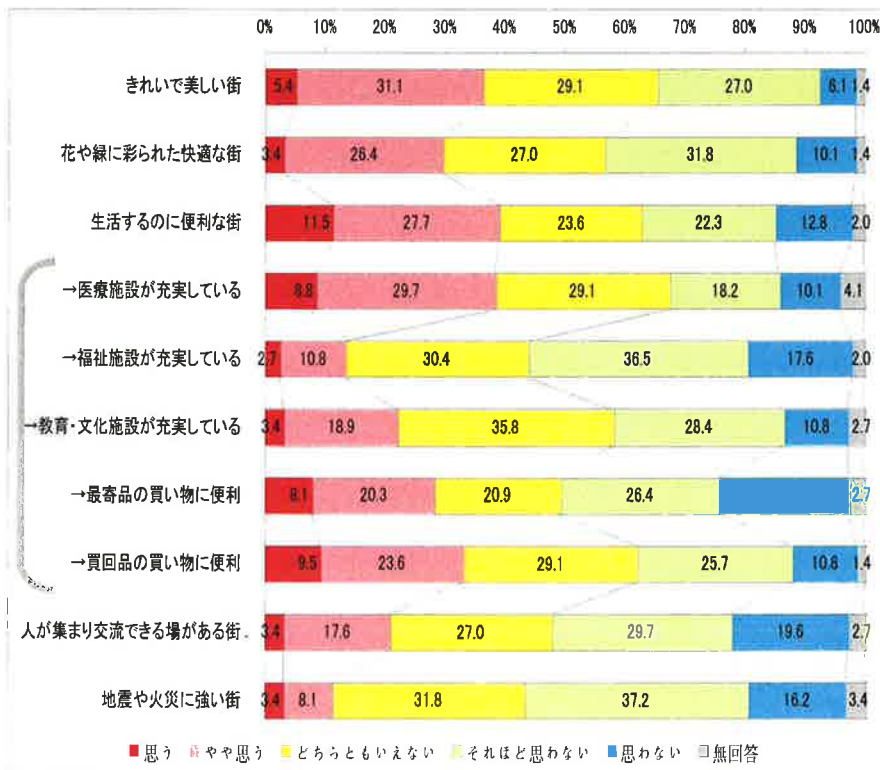
【若手経済人】

(満足度 DI 値)



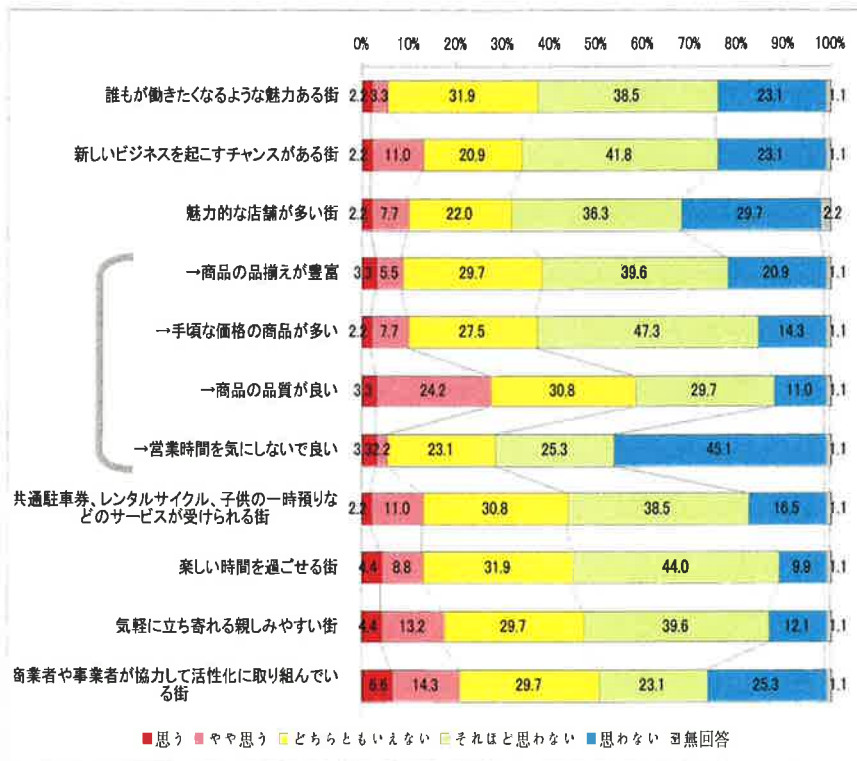
【店舗経営者】

(満足度 DI 値)

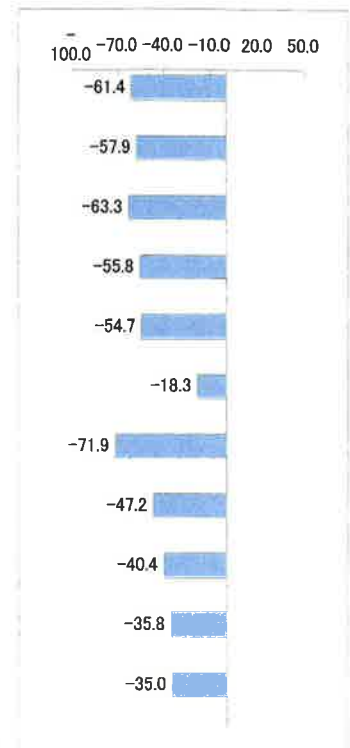


③商業及び産業に関する「商業等満足度」

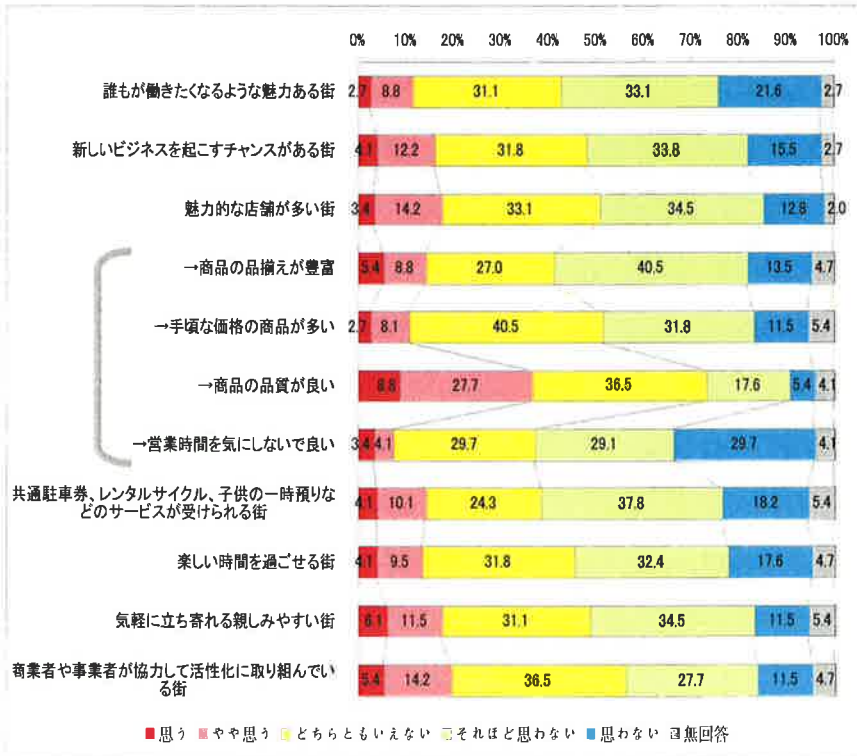
【若手経済人】



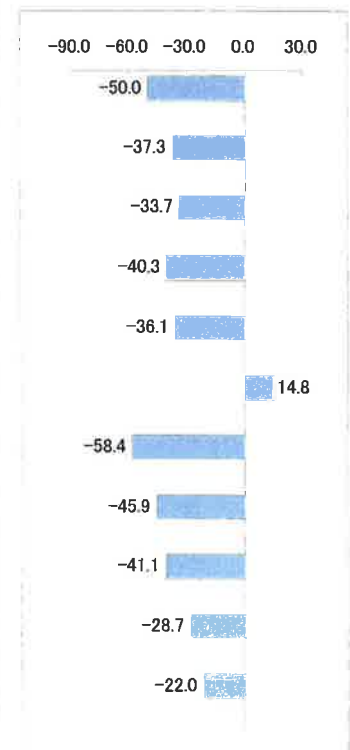
(満足度 DI 値)



【店舗経営者】

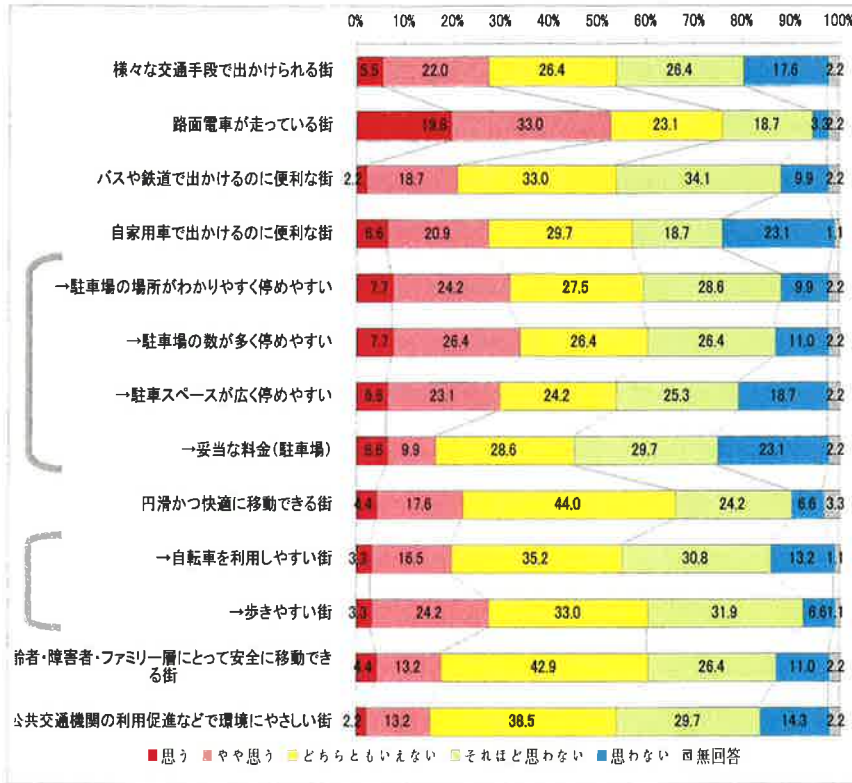


(満足度 DI 値)

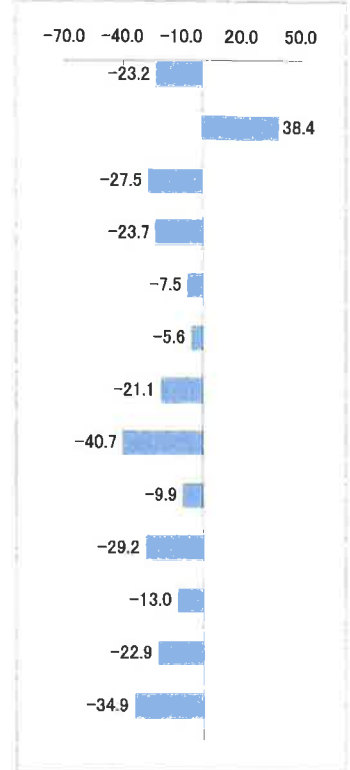


④中心市街地へのアクセス等に関する「交通等満足度」

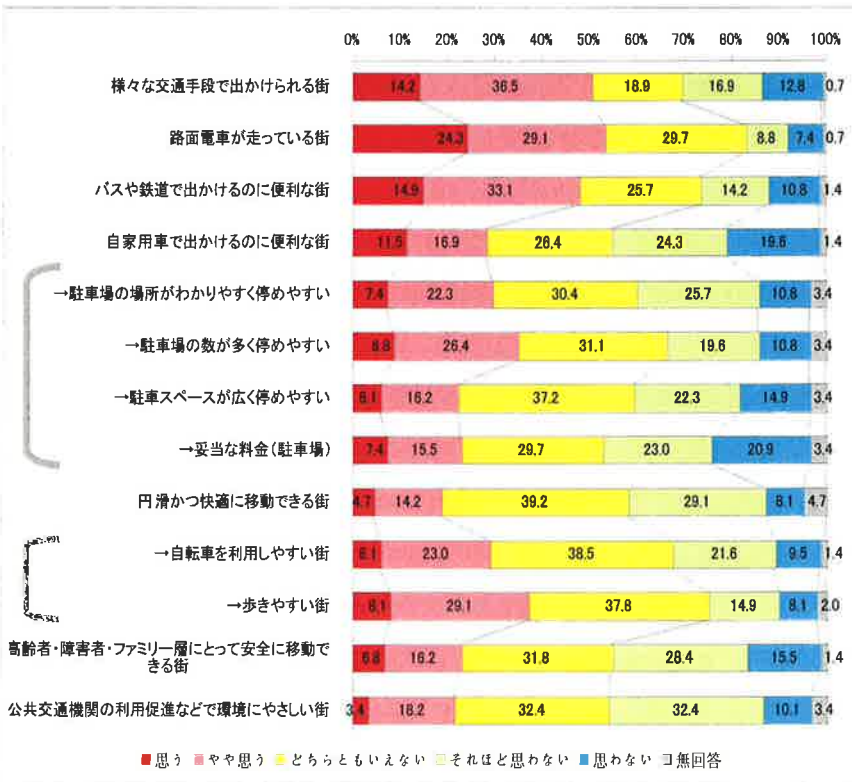
【若手経済人】



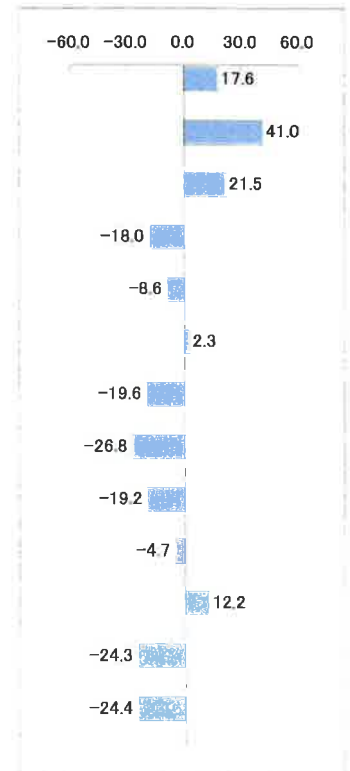
(満足度 DI 値)



【店舗経営者】



(満足度 DI 値)



3. 満足度と重要度の評価分析

次の4分野24項目に関する現状の満足度と将来の重要度について、若手経済人と店舗経営者それぞれに平均スコアを算出し、各項目の満足度と重要度の平均得点により分布図を描いた。平均スコアは、「思う」5点、「やや思う」4点、「どちらともいえない」3点、「それほど思わない」2点、「思わない」1点として算出した。

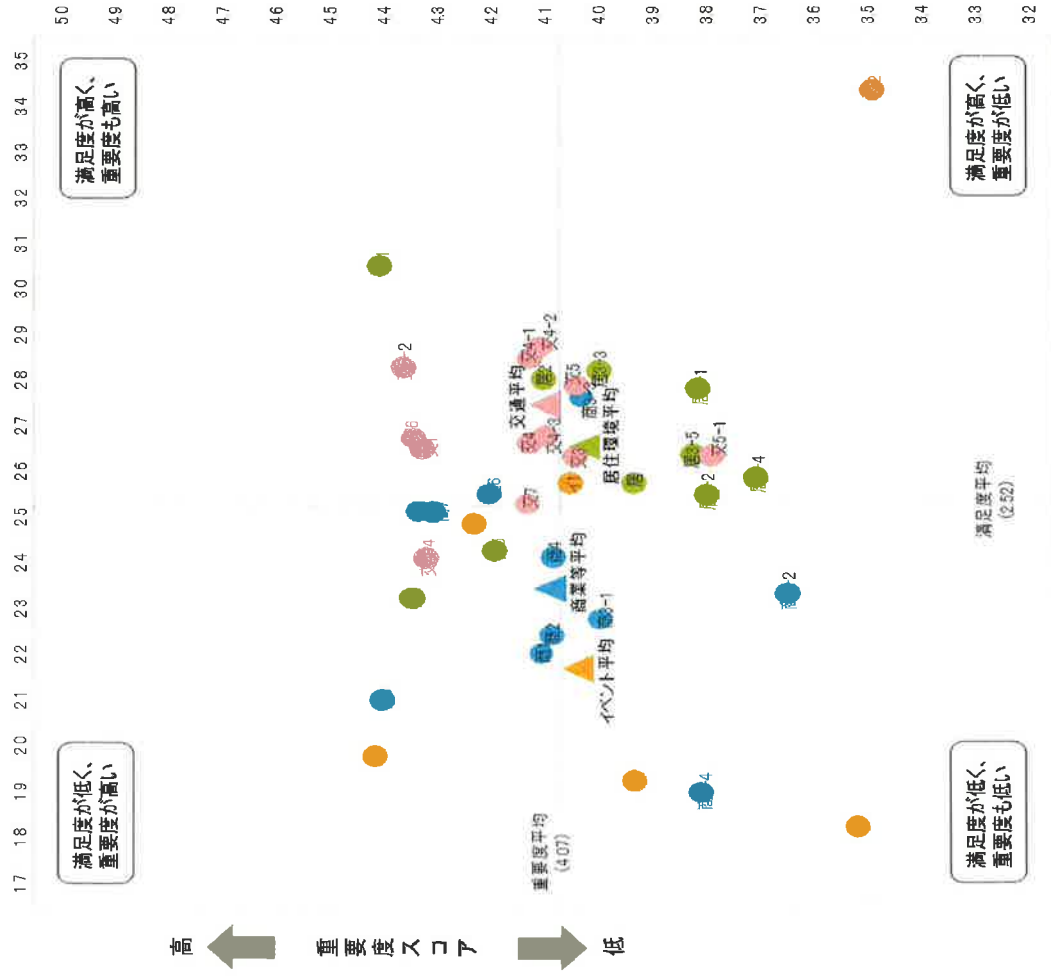
No.	にぎわい等	若手 満足度	若手 重要度	店舗 満足度	店舗 重要度
①	イベントや文化活動を行っている活気のある街	2.57	4.05	2.39	4.15
②	新しい発見や感動、ときめきを感じる楽しい街	1.92	3.93	1.86	4.23
③	文化的な潤いがあり親しみやすく愛着の持てる街	2.49	4.23	2.48	4.26
④	福井の「顔」として誇りを持てる街	1.97	4.41	2.11	4.34
⑤	ファッションブルでセンスの良さを感じる街	1.82	3.52	2.22	3.91
	平均	2.16	4.03	2.21	4.18

No.	景観等	若手 満足度	若手 重要度	店舗 満足度	店舗 重要度
①	きれいで美しい街	3.05	4.41	2.99	4.41
②	花や緑に彩られた快適な街	2.80	4.11	2.77	4.16
③	生活するのに便利な街	2.57	3.98	2.97	4.28
④	人が集まり交流できる場がある街	2.32	4.35	2.47	4.39
⑤	地震や火災に強い街	2.42	4.19	2.35	4.40
	平均	2.65	4.02	2.71	4.19

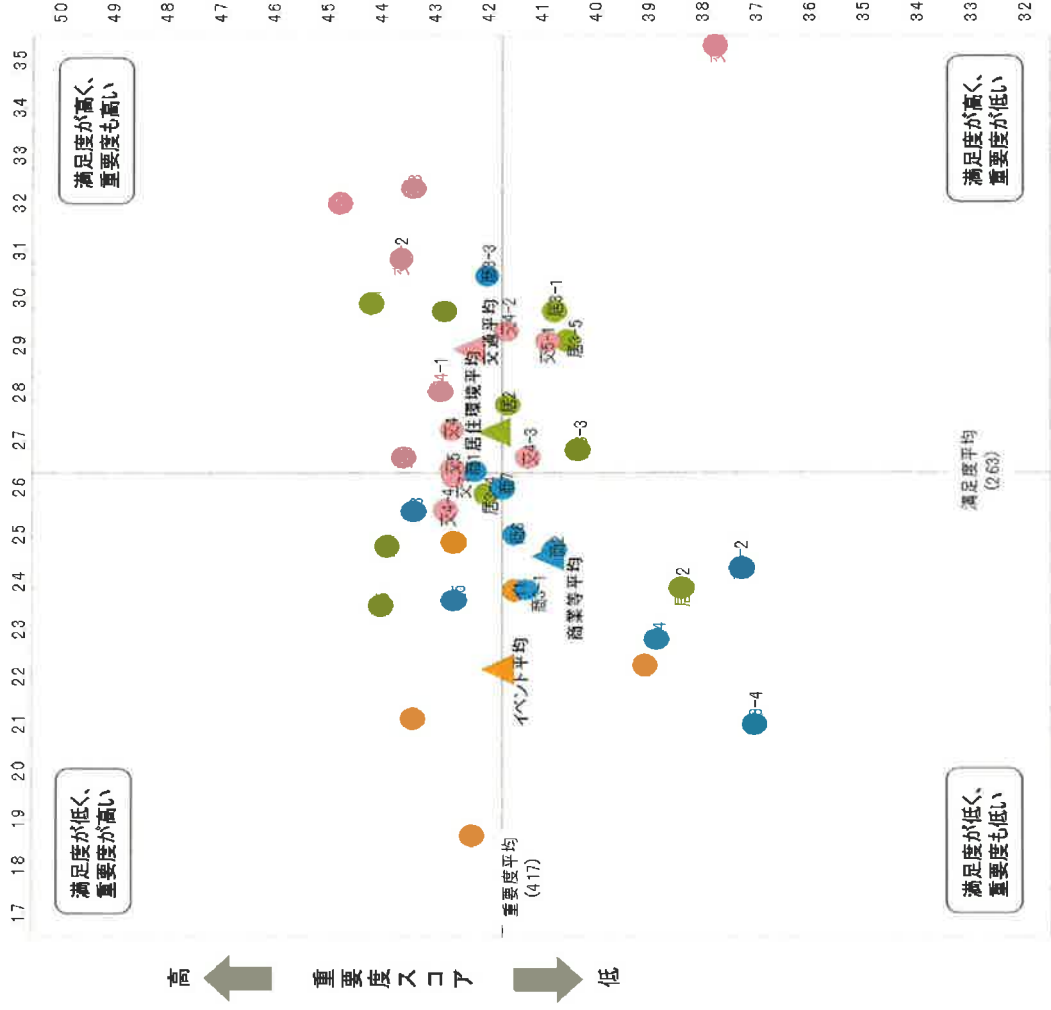
No.	商業等	若手 満足度	若手 重要度	店舗 満足度	店舗 重要度
①	誰もが働きたくなるような魅力ある街	2.20	4.11	2.30	4.22
②	新しいビジネスを起こすチャンスがある街	2.24	4.09	2.47	4.07
③	魅力的な店舗が多い街	2.10	4.40	2.55	4.34
④	共通駐車券などのサービスが受けられる街	2.41	4.09	2.28	3.88
⑤	楽しい時間を過ごせる街	2.51	4.34	2.36	4.26
⑥	気軽に立ち寄れる親しみやすい街	2.55	4.20	2.50	4.15
⑦	商業・事業者が協力、活性化に取り組んでいる街	2.51	4.31	2.60	4.17
	平均	2.34	4.09	2.46	4.08

No.	交通等	若手 満足度	若手 重要度	店舗 満足度	店舗 重要度
①	様々な交通手段で出かけられる街	2.65	4.33	3.20	4.47
②	路面電車が走っている街	3.41	3.49	3.52	3.77
③	バスや鉄道で出かけるのに便利な街	2.63	4.04	3.23	4.34
④	自家用車で出かけるのに便利な街	2.66	4.13	2.72	4.26
⑤	円滑かつ快適に移動できる街	2.79	4.04	2.64	4.26
⑥	高齢者や障害者等にとって安全に移動できる街	2.67	4.34	2.66	4.36
⑦	公共交通機関の利用促進等で環境にやさしい街	2.53	4.13	2.62	4.26
	平均	2.74	4.10	2.89	4.23

「中心市街地活性化についてのアンケート」集計表(若手経済人)



「中心市街地活性化についてのアンケート」集計表(店舗経営者)



《重点的な取り組みが必要な項目》 (満足度が低く、重要度が高い項目)

分類	コード	項目
にぎわい等	③	文化的な潤いがあり親しみやすく愛着の持てる街
	④	福井の「顔」として誇りを持てる街
景観等(居住)	④	人が集まり交流できる場がある街
	⑤	地震や火災に強い街
商業等	①	誰もが働きたくなるような魅力ある街
	③	魅力的な店舗が多い街
	⑤	楽しい時間を過ごせる街
	⑥	気軽に立ち寄れる親しみやすい街
	⑦	商業・事業者が協力、活性化に取り組んでいる街
交通等	⑥	高齢者や障害者等にとって安全に移動できる街

《逐次改善を図っていく項目》 (満足度が低く、重要度も低い項目)

分類	コード	項目
にぎわい等	①	イベントや文化活動を行っている活気のある街
	②	新しい発見や感動、ときめきを感じる楽しい街
	⑤	ファッションナブルでセンスの良さを感じる街
商業等	②	新しいビジネスを起こすチャンスがある街
	④	共通駐車券などのサービスが受けられる街

《継続してレベルアップを図る項目》 (満足度が高く、重要度も高い項目)

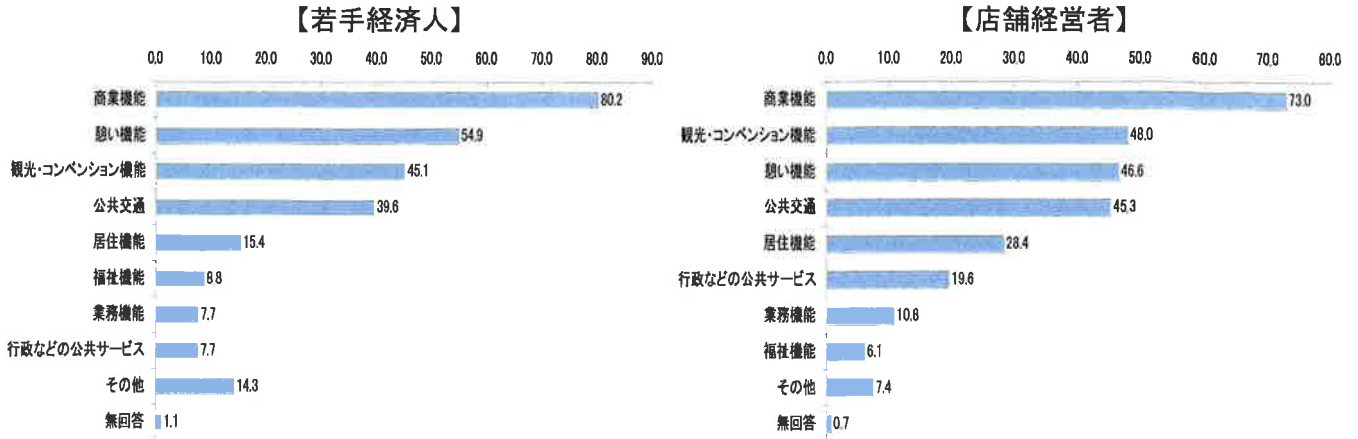
分類	コード	項目
景観等(居住)	①	きれいで美しい街
	②	花や緑に彩られた快適な街
	③	生活するのに便利な街
交通等	①	様々な交通手段で出かけられる街
	③	バスや鉄道で出かけるのに便利な街
	④	自家用車で出かけるのに便利な街
	⑤	円滑かつ快適に移動できる街
	⑦	公共交通機関の利用促進等で環境にやさしい街

《現状の水準を維持する項目》 (満足度が高く、重要度が低い項目)

分類	コード	項目
交通等	②	路面電車が走っている街

※ 若手経済人・店舗経営者のデータを合算して設定

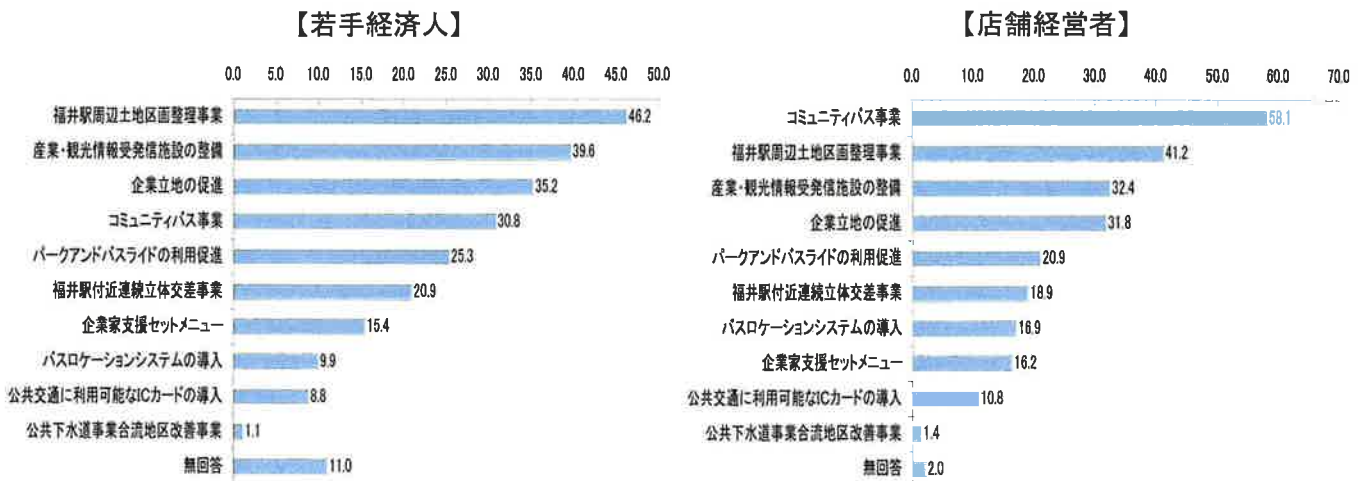
4. 中心市街地の活性化のために強化すべき機能(複数回答:3つまで)



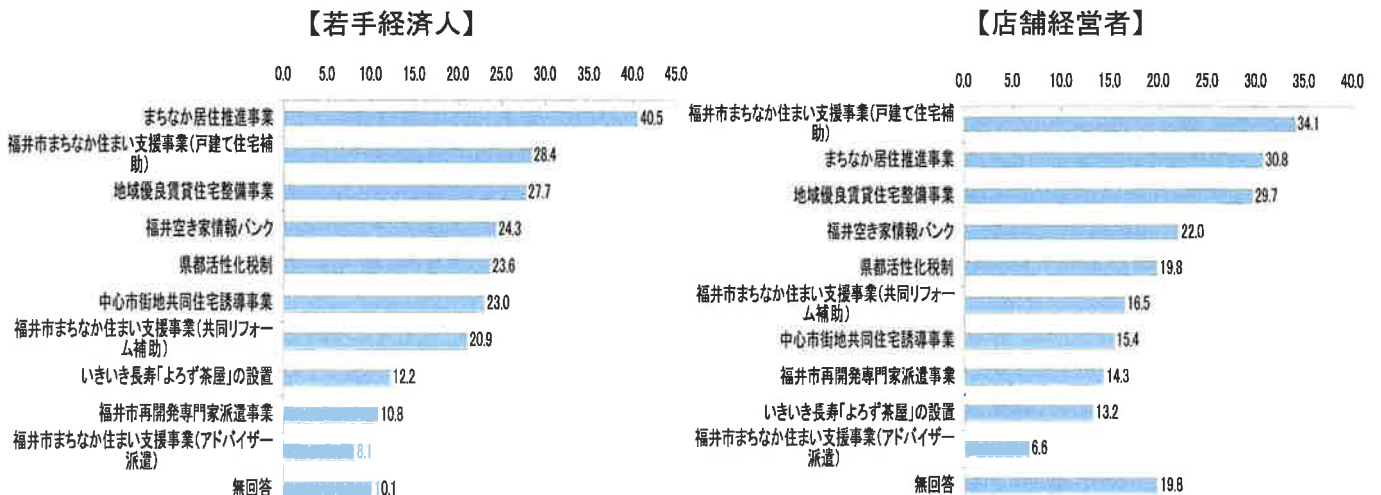
5. 中心市街地の活性化に寄与すると思われる事業(複数回答:各分野ごとに3つまで)

(中心市街地活性化基本計画に定められている事業の中で、現在実施中と今後着手される事業が対象)

《分野1 訪れやすい環境をつくる》

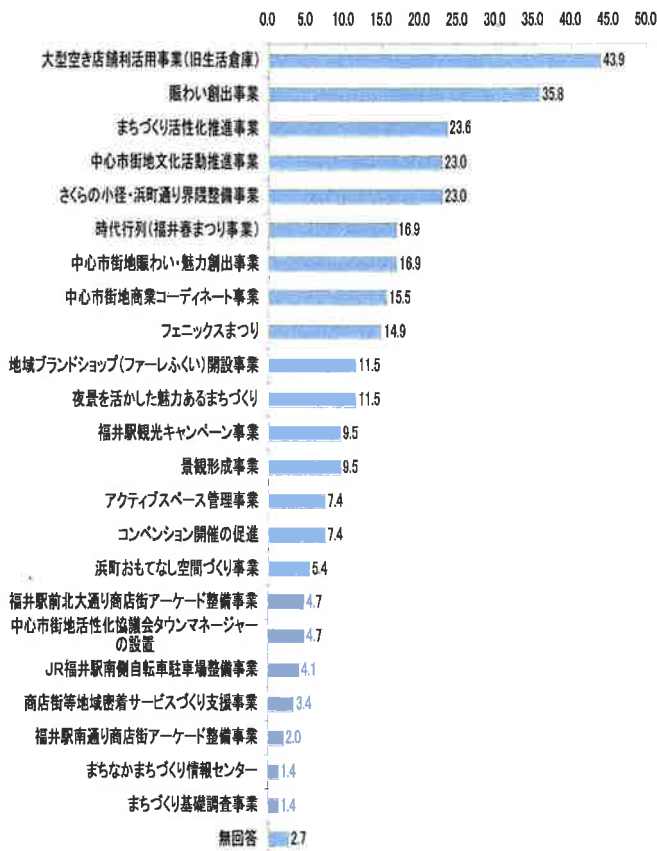


《分野2 居住する人を増やす》

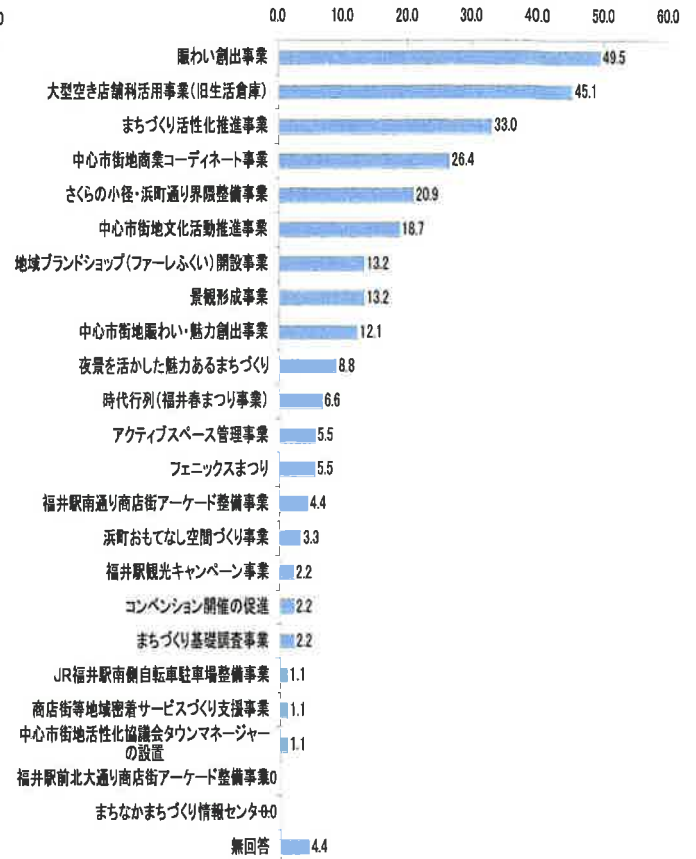


《分野3 歩いてみたくなる魅力を高める》

【若手経済人】

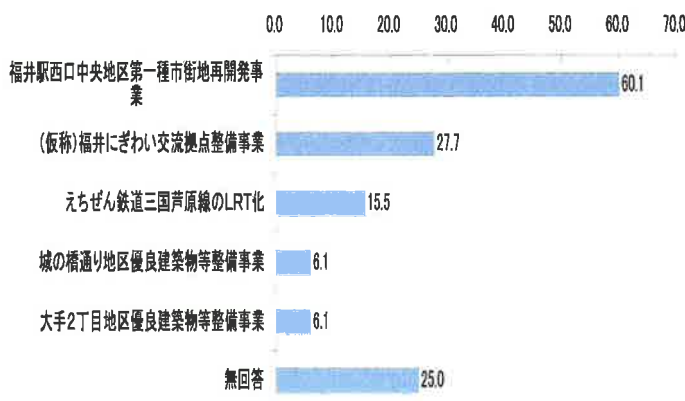


【店舗経営者】

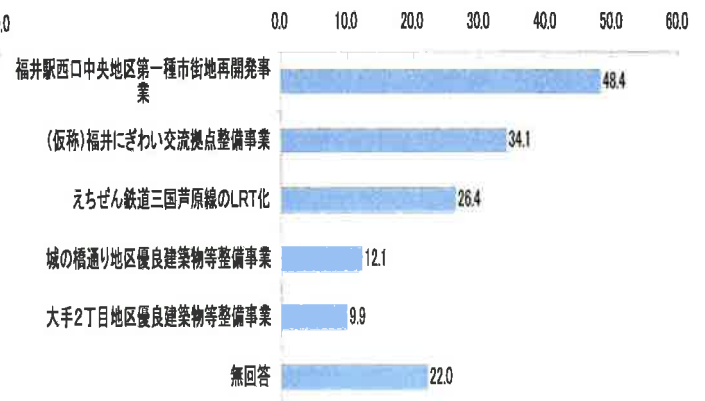


《分野4 複合事業》

【若手経済人】



【店舗経営者】



《フリーアンサー》

「福井らしい中心市街地の活性化に必要な“これからの視点”や“今後の事業”」

【若手経済人】 回答数 58 件

①核となる観光資源(例えば浜町、足羽山等)を更に活性化し、県外からの観光客を増やしていくことが市街地の活性につながると思う。現在は県内からの集客にしか目を向けていないように思われる。②交通弱者にとって利便性の高い街づくりが今後重要。車を使わなくても行きやすい交通整備が必要だと思う。③ターゲットを絞る等して、店を誘致するべき。

①駅前駐車場無料化 ②足羽川桜をもっと宣伝する(全国に)。桜の咲く時期にイベントを多くする。 ③福井県で人気のある店に駅前で出店してもらおう。

ハーモニーホール、図書館(県の)、市営球場、ショッピングモール等、大規模商・文化施設が郊外に分散してしまっている。中心市街地にそれらが集中すれば福井の駅前の活性化にもつながるし、交通手段の変化にもつながると思う。駅前に大手商業施設(イオン等)が誘致できれば人々も集まると思う。一つ一つのイベントはそういった幹となる施設がないと今ひとつ盛り上がりがないと思う。

駅西地区の開発が重要だと思いますが、前市長の坂川さん以来全然変化がないようです。駐車場ばかりで今のところ何の魅力も中心市街地には無いような気がします。生活倉庫跡地も含めて、駅西の開発が重要だと改めて感じます。アオッサも今一つ中途半端。官と民を分けて考えないとビルの雰囲気がおかしくなってしまう。市街地にコンセプトがないと面白味に欠けるので、何か統一したコンセプトがほしいと思います。

ここにある、ここでしか買えない、これならお金を払いたいというモノが揃うエキマエにしていけることが生き残りだと思います。エルパやベルの真似をしなくていいと思います。「ココロおどる」マチにして下さい。

中心街から離れた場所に居住エリアが増え、中心街まで出なくなっていると思います。中心街の商業スペースの密度と周辺の人口密度を上げる事が重要だと思います。

大都市圏の真似ではなく、福井＝“田舎”“郷里”といったカントリーライフを前面に出した市街地の活性化が望まれる。

「何をもって活性化とするか」の定義をもう一度見直し、そのための目標を達成できる事業が必要ではないでしょうか。

駅前集客の為に無料駐車場は駅前にある3つだけで、東口は無料化の連携がない所に取り組みの小ささを感じる。高い建物を利用して、県庁屋上で星空教室でも開催して下さい。

私の子供の頃は駅前に行くのが大好きでした。なのに自分の子供は駅前に行こう！と言うと「どこ？」って言っています。やはり郊外のショッピングセンターの方が人気のようです。遊ぶ施設がたくさんあるエンゼルランドのような施設が駅前にあれば、平日ももちろんのこと休日も賑わうのではないのでしょうか。市内に住んでいると大きな公園まで行くのが大変です。子供が集まる所には大人、そしておじいちゃん、おばあちゃんも一緒になってくるといいと思います。そうなればお買物も駅前ですていいと思います。

自分が子育て世代になって、子供を連れて1日遊べる場所というのが重要になってきました。やはりマイカーで気軽に移動できること、遊べるスペース作り等が必要だと思う。それと共に駅前ならではのファッションブルさやイベント等も維持していきべきだと思います。

福井城を元に戻す。そこからスタート。地権者、県庁の問題等ハードでの改善が必要。ソフトだけでは限界があると思います。

活性化しないボトルネックは天候条件(雪、雨が多い)と人口の少なさだと思う。大型SCを競合するのは意味がないので、人口増加と企業誘致を徹底的に推進するしかないのでは？県や市の人口が増加すればイヤでも活性化すると思う。

商店街の活性化が最重要だと思います。若者を街に！！

その時その時で何かブーム(流行)するものがあり、それをいち早く見つけ福井にからめて全国に発信する。マスコミ関係の方にもっとがんばってもらい、全国放送でアピールできる様努力してもらおう。何でもリーダーで変わるのだから、福井のリーダーにもっともっと営業(商売魂)を出して発信してもらわないとだめでしょう。全てリーダーの心意気ひとつです。大胆な事を思い切ってやる！失敗したらまた一からやればいい。

コンパクトシティの概念は地域全体で市街地を作り上げるものだと思います。市街地だけの政策ではダメなのでは。農地、工業地域、郊外店を一体的に考えるべきだと思います。福井は日本の中心になり流通面に優れた土地です。商業の発展は福井では見込めない為、農業先進国(県)にして大阪、名古屋へ流通させる。

商業の発展をまず軸に考えるべきです。
これからの視点 … 「福井らしさ」「福井ブランド」創出 今後の事業 … 前述の視点を基にした観光事業の強化。

福井らしい清潔さの演出。新しい事業拠点としてのイメージ創りと企業誘致。「福井らしさとは何か」ということをまずは追求する必要があるのでは？単なる押しつけではなく、客観的に福井とは何なのかという事を研究し、それを街づくりに生かす必要があるのでは？

まち系NPOの総合的な会議の場を設ける。走らない新幹線を持つより今ある高架をえち鉄に貸したらどうかと思う。JRが高架になった利点が全く活かされていない。駅前東口の方の開発を進めた方がいいと思う。

郊外に無く中心市街地にしか無いモノに特化するべき。駐車場や運賃等お金を払っても訪れたい場所を目指してほしい。居住環境と商業は両立は困難。どちらかに焦点を絞っては？何をしても費用対効果をじっくり検証して行ってほしい。市民の声も大事だが、八方美人にならない様、方向性を定めて将来のビジョンと現在行われている事業の整合性を。

交通の問題、駐車場問題等に議論がいくのはすりかえではないか。どの都市においても中心市街地では郊外のSC等と比較すれば駐車料金等で差がつくのは当たり前であると思う。その結果、公共交通を使う交通弱者によった街しかできないか、車等も含めすべての人が魅力を感じる街として再生するかは、そこにある個々の商店、商品、そして元氣ある商店の集まりで、さらに魅力発信を行うイベントやブランディングだと思う。現状の魅力ある発信をできない店主の集まりが、交通のせいになったり、居住性のせいになったりする方向には賛同できない。

まちづくりをキーワードに活動している団体の統率ができないか。

イベントなども他の県の真似ごとでなく(時代行列と百万石まつりなど)福井らしさを出したイベントをするといいと思う。福井は車社会なのでもっと交通の便をよくするのいいと思う。

PR不足の解消とブランド力の向上が必要。

なぜ中心市街地を活性化しなければならないのか？それに対する明確で具体的な答えを持っている人は誰もいない。市民の幅広から税金を集め、それを駅前にばかり集中投資することはバランスの悪いことではないか？福井は福井であり、いくら背伸びして頑張っても金沢にはなれない。どの都市も同じように商業や業務的な発展を目指す、日本経済成長から鑑みると、「発展」という文字は絵空事である。正直に言って郊外の方が便が良く、住みやすい。今後は車に乗れないお年寄りの人が安心して暮らしていけるような街づくりを行い、中心部にはお年寄り、郊外は若年層といった住み分けも必要ではないか？

北の庄周辺の薄暗い商店街を明るくきれいな商店街にすることが大事である。街を活性化するためには起爆剤が必要である。金沢で言えば、駅周辺はフォーラスがきたことで一変したと思う。大和田地区はエルパを中心に活性化している。ラウンドワンやフォーラスのようなものが駅周辺に来れば一気に活性化すると思う。

西口再開発の早期着工(福井、食、ブランドの発信基地としての建物)。えち鉄、福井鉄道の駅への乗り入れ(各駅に公共建物を建設)。駅前専門店の夜間営業の増進。民間再開発事業の促進。地下駐車場の駅からの出入口の追加工事。駅西、駅東広場のイベントの開催。駅近郊への人口増加の企業(専門学校、地元大企業の本社など)の誘致。

駅前周辺に行きたいと思うことは時々ありますが、交通手段がどうしても車になってしまうので(自宅近くに駅がない)駐車場の無料化とまでは言いませんが、さらに低料金にいただけると行きやすいです。もっと気軽に行けるといいと感じます。

福井駅前とにかく人々が集まれる大きな広場があり、つねにイベントなどが行われると楽しいんじゃないかな。

駐車場の無料化の試み等はすばらしいと思います。自動車社会である福井では自動車での移動がしやすい環境が最も大切だと思います。

魅力ある店舗情報の発信、アーケード整備も良いが街並みの統一感を出せるような仕掛け。活気(19 時頃電車で帰福するとシャッターが閉まり真黒では…)。屋台村のような仕掛け。昼間歩いて空きテナントが目立つビル群よりも多く企業が入れるような優遇措置。福井は車社会ということで駐車場を多く作るのではなく、逆に公共交通機関でしか(もちろん公共交通機関の整備も必要)入れないような街づくり。

福井西武に依存しない街づくりを目指すべきである。具体的には老朽化した小規模店舗をまとめ、再開発を広い範囲で実施していく。

すでに駅西をみている限り、店舗の数や企業動向をみても限界点を越えて活気がなく感じる。環境を整えるだけでは以前の活気を取り戻せないと考える。半強制的に人を呼び込むイベント、施設が必要と思う。教育系(大原や青池他)等は増えてきているのもあり、福井の勤勉さを訴求する場としても有効ではないかと考える。

福井中心市街地は、どうしても福井はマイカー社会なので一番重要なことは駐車場の確保であって駐車代もバカにならない。やはり福井中心市街地は無料駐車場設置がかかせないと思います。福井市郊外は駐車代は無料であって停めるスペースにゆとりがあり、時間を気にせずに駐車できる。ウィンドウショッピングでも時間を気にせずにいられる。

福井中心の話をするとき決まって聞く言葉が「行政が悪い」とか「市長のビジョンがない」とか聞きます。担当者もすぐ代わり、意識の統一がしにくいと耳にします。こういうことを聞くと、何年たっても変わらないと思ってしまう。まずは市長のビジョンを打ち出すこと、それを実行に移す実行部隊を長い目で育てること。1~2 年で行政の担当が代わるのは意見がないです。

ちまちまやっているのではなく、一極集中、これだというものに投資する。例えば恐竜とか、カニとかを前面に押し出すとか。

1 年毎の明確なプランを打ち出し、一つ一つ積み重ねていけば変化があると思います。年代を絞るところと絞らないところをうまくミックスすれば自然に集まってくると思います。また、女性をターゲットにしたものを発信すれば、子供やパートナーも来ると思います。

強いリーダーシップによる抜本的な再開発が必要。何よりもアクセスの良さが重要。魅力ある商業施設、店舗を誘致しないと人は集まらない。福井らしくなくても良い。(福井らしいとは?)

街の景色を統一する(建物の外観を同じにする)とか、ZARA、H&Mなどの誘致。

西口再開発計画の見直し一いらないと思います。今の利用のようなイベントスペースや公園のようなものを整備した方が人は集まると思います。駅周辺に公衆無線LANの設置をお願いします。

駅から見える街並みが汚く感じ、立ち止まろうと思う気持ちがなくなる。

福井駅→西口再開発地区→商店街→浜町→足羽河原、片町→お堀 歩行者が自然と流れるような一貫性のある歩道ができれば、浜町、片町まで直線的でわかりやすい道、その他その周辺を長期的に整備計画。資産運用目的のやる気のない店は×→中心市街地のネック。そこで商売をしていなくても生活していける様な売上は二次的な店もあるのには愕然としたことがある。そこで商売をしている人達が活気とやる気がなければ周りが何をやっても効果は半減！行政や他の団体に何かをしてもらおうスタンスではだめ。

結局、古い体制や新しいものとの融合が出来ていない。活性化と言いつつ何もしないのが現状ではないでしょうか？やる気があるのか全く伝わりません。このようなアンケートで今後どう変わるのかと思います。

他県との差別化。モダンな街づくりというよりも歴史や文化、食をアピールした街づくり。

大型商業施設の誘致といった安易な方針ではなく、地元の魅力ある店舗のPR、福井の歴史や特産品を強調するような街づくりをするべき。

中心市街地に出店されているお店の経営者並びに従業員さん達の一致団結した、市街地を盛り上げていこうという意識があまり感じられない。個々の頑張りについては感じられるが、ひとつのウェーブまでになっていないところが悲しい。魅力ある街には自然と人は集まってくるはずなので、魅力ある街づくりにしていかないと大きな波(ウェーブ)を起こして、継続していくことが大切だと思います。

「街が人を育てる」ことをもっと重視してよと感じる。街づくりがイコール人づくりであることを共有することが大切かと思う。いろんな意味で「決断」が必要になってくる時期に来ていると思う。

まちなかに出店しやすい制度をさらに手厚くし活性化していかなければならないと感じます。家族が行きやすい街づくりをすれば、自然に活性化していくのではないのでしょうか。

以前から思っている事で、春になると足羽川、現在ですと柴田神社へ観光バスを通じて来られる方が多いので、観光バスを止められる様な場所を確保し、福井の良さを歩きながらあるいは電車、バスを使いながら感じてもらえるような整備をする事が重要。対外的にアピールできて特に県外や外国からの人が集まれば活性化につながるのでは。

まずAOSSA以外に駅前に行く用事が特にありません。イベントや店舗など、まだまだ増やすなりPRするなど、誰でも知っているような事業をして欲しい。福井駅近辺にはメインになる何かが必要だと思います。

若者の福井離れや少子化といった問題があるが、やはり若者が集う市街地でなければなかなか現状の維持から抜け出せないのでは。歴史や県外の人に「魅せる」場所はあるので、高い年齢層好みの街にすることは比較的容易な気がする。春まつり、フェニックス祭の拡大、内容充実を図ることも非常に重要で、これから行政・市民・県民・企業など全体で協力しあうことが不可欠ではないか。活性化推進の答えは意外と簡単なことだったりするのかもしれない。

税金を投入して活性化するのが当たり前のようにになっているが(アオッサ等)、根本的に違うと思う。福井県は福井県らしく「背伸び」をしなくて動いてほしい。他県のマネをしてもムダ！！

福井市らしさとは中堅都市を目指すことだと思う。つまり、福井市らしさとはバランスの良いところだと思うので、バランスの取れた中堅都市を目指す取り組みをしていただきたい。

県庁、県警の移転。

居住、企業誘致、福祉等何かに目的を絞って取り組んでどうか。全ての事柄が大切だが、全てを実施するには時間と金がかかるので、目的を絞り効果的なまちづくり事業を行い、1つずつ段階を踏む事が大切なのではないか。

ちよこちよこではなく大規模で抜本的な計画を立て実行。

【店舗経営者】 回答数 73 件

駅西の整備事業もそうですが、グランドビジョンが明確でなく変更が多すぎる。ビジョンを確立し、市民や地元の人に透明感のある行動をお願いします。

金沢などの真似をしても仕方ない。大きなビルを建てるより福井らしさを出したまちづくりができるといいと思う。

西武利用者向けの駐車場の割引率(駐車料金)の一律。一律でないことにより北の庄通り等の休日の交通渋滞を引き起こし、女性、高齢者の駅前離れを加速させていると思います。

空き店舗の活用。減らす。金曜、土曜の夜にイベントを行う(会社帰りの人を狙って)

車主体より人主体のやさしいまちに！

モデルケースなどを示し、方向性を明確に示す。

大手3丁目くらいまでの駐車違反の取り締まりを止めて、駅前に気軽に入ってこられるようにしないと駅前の活性化はない。駅前に大きな雑貨および日用品が買えるスーパー店を。すまいるバスを各方面から駅前に出すこと。

旧生活倉庫をえち鉄駅ビルに。高齢者が多く、雨や雪の多い福井で吹きさらしの停留所は如何なものか。お金を生まない箱物に予算をまわすくらいならば、お金を生み出す施設に作りかえるべき。お金を生み出さない箱にはテナントは入らない。

中心市街地に人を呼ぶために足りないのは、1. 店舗の数と種類 2. 交通手段 3. 販促のイベント 4. 憩いのスペース 現在中心市街地に足りないのは多種の店舗の数。商店街とは名の通り商店が集まっていることが魅力なのだ。

郊外にばかり集中している家電量販店を市中心部に誘致することが絶対必要だ。この駅都中心部において電球一つも買える家電店が無いのは最低だ。こんな地域に人が集まる訳がない。積極的に誘致することを要望する。担当者は一体何を考えているのだろうか？あまりにもお粗末すぎる。中心市街地に店舗を構えているオーナーの営業時間の延長(せめて8時位まで)は必要だ。頭の切り替えが出来ない様では何をやっても駄目だ。

福井は海のもの山のものに恵まれているのに、JRなどで県都に比べて買物ができる所や屋に食事できる所がない。県外客からおいしいそばと海鮮丼が食べられる店はどこかと聞かれ、今立や三国まで行かないと無いと思返事に困ったことがあります。市場があるといいなあとあります。芸術に関しても、名前だけでなく実力で評価してほしい。A級の人達が活躍できる施設を望みます。

駐車料金がかかることをどのお客様も口にされます。雨に日にも買物しやすい、歩きやすい街が良いと思います。歩き疲れていても座ってひと休み出来るスペースが無い(あっても少ない)ので、オープンカフェのように歩道などにもベンチ等を出してもOKにしてほしい。すぐ都会ちっくになりそう。

私は60代ですが郊外の大規模店舗にはない品格のある店づくり、街づくりを考えてほしい。お買物、文化的催事、憩える場所等区画ごとに特徴のある雰囲気を作り出してほしい。例えば小径、小町、浜町の企画はこれからもっと楽しめる事業だと思えます。スタッフの方々大変とは思いますがガンバッテ！市民が福井に駅前に出かけたいと思える街づくりを期待しております。

ファミリー向けのスーパー、ファミリー向けのゲームセンター、家電や雑貨店等お金を使わなくても楽しめる場の提供。

中央公園辺りに大きな文化施設があると良いと思います。例えば県民会館等(県民会館を早く解体してほしい)

歩行者の通行の不便さの解消促進。JR福井駅から降りた時に県庁線(笹屋前～御本城橋)に通行しようとするとき不便である。現在の横断歩道の他に従来設置されていた横断歩道(大橋ビル前～駅前広場)を復活してもらいたい。従来のこの横断歩道を廃止した理由は、赤信号による自動車の滞留列が長くなることの一つの理由らしい。しかしこの問題は信号の切替時間を工夫することで解決できることである。また、自動車の交通量は予想したよりも少ない。

まちなかに観光スポットを作る。県庁を移転させ、跡地に公園もしくはお城、資料館、美術館などを建てる。西口再開発を早期に決着させ、スピード感を持って街づくりを進めるべき。

福井らしさがなければ単なる都会化になってしまう。そのためには足羽川や足羽山を含めた中心市街地という範囲の見直しが必要である。足羽川と足羽山をもっと全国に誇れる公園として整備し、「水と緑と歴史の街福井」を創造すべきである。現在は目指すビジョンが共通されていない。

古いビルを壊して新しく再開発してほしい。中央1丁目の五十嵐ビルのある三角地帯など特に地権者をまとめていく組織が必要！

福井歴史シルクロード(繊維会館～羽二重繊維工房～北の庄～左内公園～九十九橋(食べ歩きロード))、蟹歩き横町(越前ガニ食い道楽街、大野の里芋)、和紙、漆器。打ち刃物、メガネ横町、和食、和菓子、加賀友禅の工房、ファッションストリート、イタリア・フランス街、USA街、アジア街、各種工房型SHOPの誘致&ストリート造り。

24時間利用可能な公的駐車場の運営をしてほしい。利用しづらくなっている。24時間運用することで災害時の避難場所としての活用もできるのではないのでしょうか。公園や公共施設に太陽光発電によるLED照明を1ヶ所以上設置し、災害に強い地域の形成をしてはどうか。

旧生活倉庫が10年以上何も使われていなく、若者の集まる街になっていない。丸井やパルコ等の大手デパートなどの集客率のよいメジャーブランド的なテナントにして欲しい。現状の駅前は人通りが少なく、まったく活気を感じられないので困る。

にぎわい創出の為に再開発ビルに乗り出したはずが今はそのコンセプトが街全体のにぎわいへとシフトチェンジしている。にぎわいをつくらない再開発ビルなどは全く必要としない！福井市は芝生の広場をより広く、より使い勝手の良いものとして整備する事を進めた方が正しいと思う。東村市長のリーダーシップなくして福井の明日は創れない。

中心地の空洞化をふせぐ。駐車料金が安い。30分までは無料とかをすれば気軽にこられるお客様が増えるのでは？新規の店舗には補助金制度等があるが、既存のお店にも何かしらの優遇措置があれば郊外に流れてしまう事も少しは防げるのでは？

いろいろな施設(ショッピングセンター等)を郊外にもついでに中心地におくようにする。

駅前ですがもっと何か出来るのではと日頃から思っています。歩道、駅から歩いてお店をと思っただけでも雨の日は絶対に傘がないと濡れるんです。アーケードがつかない。ここは突風が多いのでその対策をしてほしい。中心部に公園などあってまわりにお店があると集まりやすいけれど、今の立地では無理かなあ。いっそスクランブル交差点辺りまで公園にしてしまったらと。人がバンバン渡るのに車が通る(迂回してもらいましょう)。たむろしている若者をひとまとめに。私は他県の者です。さびれた駅前は恥ずかしいです。ゴミは少なく美しい福井、人にやさしい福井です。でも駐車場も入りにくい。店舗の統一感を出してそして歩いて楽しい街にして下さい。

緑をもっと多くし(公園、庭など)できたら中心地で農業もできるような町ならすてきだと思います。自然をよくするために、山、川、海のことを一体になって考えたらいいと思います。職人のいる街、物づくりを見せる街もできたらいいな。

あまり大きな建物や場所はいらなくとも。人口も少ないしかえって使いにくい。小さくてセンスのいいものを作った方が上手いくと思う。又、中途半端なことはしない方がいいし、アイデアが浮かばないなら森や庭園にしておいた方がいいと思います。無理に建物を建てるのはおかしいです。

駐車場が多すぎるので少し規制をしてみても。又、固定資産税などをグンと安くして郊外よりも安くして、まちなかに色々な商店、企業が入るようにしてはどうか。

特化した「目的」を持ったデザインが必要だと思う。福井と言えば…福祉、食、何でもいので偏っていても特徴を持った町にする事で、ターゲット人口とその周囲の人々を呼び込めないだろうか？例えば、陽子線治療施設が出来たのならそこに訪れる人を対象とした施設を作る。長期滞在になれば治療者を訪れる。そんな風に中心地の活性化が図れないだろうか。

福井駅前地区はやはり固定資産税が高く、テナント料も高くなってしまいます。一部アイデア次第によっては減税を行っても良いのでは。地域収入と税のバランスが取れていないと思います。

順化地区では「どまんなか館」や錦公園でのイベントが開催されていますが、一部の人達や商店組合で盛り上がっています。片町では本来スナックやバーなどが多い町であり、そのような飲食店が参加できるような町全体でのイベントをやめるべきである。

全店少なくとも 21:00 頃まで営業する。地元の人がまず汗を流すこと。

地下駐車場を商店にする(アメ横みたいな活気を)。地下も駅まで続かないと魅力がない。駅前にアウトレットを誘致、周りに福井特産店を出店(越前そば街が並ぶ等)。

街のコンセプトの確立を願います。

市内の地下駐車場料金を 1 回 100 円、時間関係なし。

西武前道路を毎日歩行者天国にして車の通行を禁止する(時間帯を設けて)。路面電車も進入禁止にする。テント市、露天商を誘致する。むしろ雑多な方が良いと思う。城址周辺の充実、歩くのが楽しい空間を作るべき。中央公園の整備、県民会館を撤去して文化施設に建て替える。

定期的に駐車場無料開放をして欲しい。すまいるバスの営業時間の見直し。多くの店が 19 時または 19 時 30 分までの営業なのでそれ以降でもバスに乗れる時間帯があっても良いと思う。

建物が古くなっている気がします。あまり活気(魅力)がある街とも思えません。若者がだんだん減っている気がする。駐車場も高い駅前で買い物した人は無料とか西武だけにたよらず、商店側にプラスになるよう支援してもらいたい。だんだん周りの店舗も少なくなってきた為、将来的には駅前というブランドを大切にしたい。店舗移転せざるを得ない気がします。もっと人が集まる街にして下さい。

駅前地区と片町地区が分断されてしまっている。大名町交差点をスクランブル交差点とし、人の流れが、駅前→片町で一体となる形したらどうか。さらに空地、空きビルに文化施設などをつくると良いのでは？

他県と同じような駅前づくりではなく、福井独自の駅前づくりをしてほしい。古き良きものをアート化したりなどすべてを新しくするのはなく、どう再生するかを考えてほしいと思います。

駐車場サービス、無料により人は集まってくると思います。

福井県庁は郊外に持っていき、福井城を再現してほしい。(観光地として外堀のある城)地下駐車場は 24 時間対応出来るようにしてほしい。片町に来る時は利用時間が短すぎる。

車社会の福井県、市では商業立地は非常に厳しい状況にあると思う。簡単ではないと思うが、やはり観光立地が今後の生延びの一つの道の様に思う。その為に新幹線の早急の延伸とかなり広い範囲での統一コンセプトの街づくりが必要と思う。(彦根市彦根城下付近は好例)

NHK大河ドラマ「江」が放映され、ゴールデンウィークを中心に多くのお客様が福井に来られ、柴田神社には今まで見たことがない様な人が来られていました。観光バスで来る人、JRで来て徒歩で神社まで地図を片手に歩いている人、この様子を見ると福井に来ている人をもっと喜ばせて帰ってあげたいと商売にも力が入ります。柴田神社の拡大や整備にもっと見ごたえのあるものに北の庄城を作ってみるぐらいの大きな目標をもって取り組んでいただきたい。福井駅から柴田神社までの太い動線を作り、1 時間～2 時間ぐらい時間がつぶせるぐらいにしてほしいです。

駅から観光地への交通の便をわかりやすく表示すること。駅から歩いて行ける場所に名所がたくさんあることに注目して案内地図を作成すると良い。

西口中央地区再開発事業の中で若い人たちが楽しめる文化施設を！例えば県立美術館とか文化会館等の移転。

新しい風を取り入れる。

中心街のメインプレーヤーは商業。サービス業であり、その活性化なくては中心街は存在しない。店舗のゾーニング、テナントミックス、マグネットストアの導入等の店舗の整備と大規模無料駐車場の設置が重要である。公共輸送機関の整備も重要だけど金を運んでくる上得意客は車でやってくる事を忘れるな！

老人たちが気軽に休める休憩場所がほしい。

福井人の特質をしっかりとサーチし、福井人が集まれる(集まりやすい)街をつくってほしい。まずは、福井の人間が集まっていないと観光で来福した方もにぎわいも福井の良さも感じられないから。

固定資産税の軽減。行政が箱物を郊外に作らず出来るだけ駅中心に移し、人の往来を多くする。

将来的に「このような街にしたい！」という構想が全く見えてこない。机上の空論ばかり展開していても全くのムダ。そもそもNHKなんて三顧の礼で以て迎える施設なのかそのあたりの感性を疑う。

中心市街地、商店舗等のロードマップ及び広告の補助金制度。

世代交代の時期が来ていると思う。老朽化した建物がたくさん空き店舗を作っている。中央公園、県庁、足羽河原、市営球場跡地などの整備、憩いのスペース、ジョギングなど散歩できる魅力ある空間。福井の新しい文化を発信出来るような事業を育ててほしい。

福井駅前を中心とした観光スポットの開発をする必要がある。目玉的観光施設の拡充が必要と思われる。

福井県、福井市の中心市街地として人の集まる場にして欲しい。駅前再開発は人が集まる施設。観光客がよべる施設整備とPR。住みよい居住空間の街づくり。

何と言っても県都福井駅前の活性化が必要。西武の横(東側)に有名デパートを。西武に負けられない建物を建てて、県都にふさわしい街づくりがよいと思う。一つのデパートではだめだ。

県庁移転、国の機関誘致と一体となった駅前の整備を進める。これを力強く実現できる政治家の輩出、育成。県民、市民の意思統一を醸成する地道な活動を始めてはどうか。金沢の発展は商業者、地権者が一体となって行政に働きかけた結果とみています。

まず福井の街の今後のコンセプトを作る事。福井駅に降り立った時にどこの街にも見かける大なり小なりのビルだらけの街より文化の街、福井にふさわしい駅前に森を作して下さい。森の中を抜けて各商店街に行ける遊歩道を作して下さい。どこの街に降り立っても森はないでしょう。ない事をしないとインパクトがありません。出遅れて途方に暮れている街はその位しないと。お隣の金沢市の様に何百年も先を見据えて街造りをしなかったツケが来ています。その場その場で造っては壊し造っては壊し。責任のなすりあいからは何も生まれません。新幹線などいりません。魅力ある街ならローカル線も乗り継いででも人はやって来ます。まず先に魅力ある街造りです。駅前や郊外店でのお客様の取り扱いより日本、世界から福井が注目される福井ブランドを。これから注目される街造りはまだ何も決まっていな。遅れているからこそ出来る事ではないでしょうか。私達の子供が孫が福井から出ていきたくない街、世界中の人々が福井に住んでみたいくなる街、まず玄関先が大事です。

職、住接近の街づくり。若い人も住み、子供を育てる環境づくり。世代交代ができる街。商店街がいろいろな業種の店が並ぶこと。

花や緑に囲まれた中心地。

- ①まちづくり福井の改革。五連、まちなかNPO、タウンマネージャー、市民会議との連携がなく、まちづくり福井を幹に民意を反映できる形で一体化できないか。
- ②中心市街地を経済活動の中心として如何にしてゆかかのビジョンの策定と実現の推進。
- ③交通動線と歩行空間の駅前電車通りモール化に併せての整備。
- ④西口再開発への提言。

人口減少、高齢化に伴う人口ピラミッドの急変と経済のグローバル化と公的債務の増加に伴う経済変化は、日本特に地方の将来の見通しを暗くするのに充分な材料だと思う。向こう 20 年でいわゆる団塊世代の多くが死去した後、より貧しい世代でどのような街をつくっていき、同規模の他都市との都市間競争を勝ち抜いて

いくのかは福井の都市圏活性化の大きな目的になると個人的に考える。今回の設問の多くは既存事業等の継続が前提となっているように思う。「マネージメント」を謳うに不安を感じる「今後」をどの程度のスパンで考えるかでとるべき施策の優先順位は異なるはずだが、何のために、何がしたいのかが伝わりにくいアンケートでした。

歴史や旧級グルメ、イベントの実施、スイーツ、アートなどの魅力的な街並み、あか抜けた街灯にすると良いと思う。治安も悪く、警察に言ってもまともに取り合ってもくれない。オシャレにはほど遠くヤンキーが集まっているようでは、なかなか魅力的にはならないのかもしれない。

駅前の夜の活性化。
ショッピングセンターの建設。毎月2日間の駐車場無料化。

散策道、緑の公園、もっとも若者達が自己表現できる空間(ストリートや空地、公園など)があるとよい。郊外の商業地、文化のかおり溢れる中心市街地、セントラルパーク、中央公園の規模を現在の10倍(野球場、サッカー場、市営運動公園位の規模)にすると人が集まってくるのでは。

駅西口広場等に緑を多く。駐車料金が安い。JR福井駅にマイカーが駐車できない。JR福井駅前の道路が曲がりくねっている。

各ブース毎に憩える場所を設置。史跡巡り用の乗物、遊園地にあるような小型のタイヤの乗物で毎日運転されている。ガイドブックに載る史跡を街中を巡って気軽にみられること。市電をスマートな低床車にすること。ニースでこれを利用して便利と思いました。福井産のお土産を扱う土産店を。三国のお土産店で県外の方にとって購入したら、原産中国(梅)とあり驚きと共にかっかりした。ハワイのショッピング街でガンセンターを利用した。しっかりと身元申告して利用した。健全な事だったら良いと思う。高速バスの待合、市バスの案内所等利用者の便を考えていない(細かな所)手前勝手な所がある。バラバラに計画した集まりみたいな感じがする。

現在居住している方々が郊外に移転される理由を調べてここに留まる施策をお願いしたい。私の個人的な思いとしては、電柱、電線等の景観を向上させるよう電力会社に働きかけてほしい。空建物の取り壊し費用の助成、子ども達の安全の為夕方時一部道路の通行制限、水害、雪害対策の為必要以上の街路樹等の設置は不要と思う。

中心街の性格づけをはっきりさせることがとても重要。「教育・研究開発機能」を中心街に創出し、県下各大学、研究所、企業をネットワークで結ぶ結節点とする。そしてその結節点から世界への発信を行う。

県庁移転。たつみやぐらの建設。